

第11回ITER理事会の開催結果について



平成24年12月14日
核融合研究作業部会



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第11回ITER理事会の日程等

日程： 2012年11月28日(水)－29日(木)

場所： フランス・カダラッシュ(サン・ポール・レ・デュランス市)

議長： 高津 日本原子力研究開発機構特別研究員

出席者：

日 本： 藤木 文部科学審議官 他

欧 州： スミッツ 欧州委員会研究・イノベーション総局長 他

米 国： ブリンクマン エネルギー省科学局長 他

ロシア： ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会機関長 他

中 国： 曹(ツァオ) 科学技術部副部長 他

韓 国： 李(イ) 教育科学技術部基礎研究政策局長 他

インド： グローバー 原子力庁最高顧問 他

ITER機構： 本島 機構長 他



第11回ITER理事会の主な議題

- (1) 開会挨拶(議長、各極代表、機構長)
- (2) ITER機構からの活動報告
- (3) ITER計画のスケジュール
- (4) その他



第11回ITER理事会の結果概要(1)

ITER機構からの活動報告

○2012年9月末現在、全職員数473名。<うち専門職員310名、支援職員163名>

○ITER建設活動の着実な進展

- ・ITER 建設全体の調達価額の81%に相当する合計80の調達取極め(PA)を締結済み。
- ・トロイダル磁場コイル全体に必要な量の75%に相当する350トン超のNb₃Sn素線を製造済み。
- ・ITER機構本部建屋が完成し、10月に本部移転し全職員が11月に移動。

○フランス政府がITERの建設を許可する法令を定めた。

トカマク基礎工事



ITER機構本部建屋



Credit © ITER Organization, <http://www.iter.org/>



第11回ITER理事会の結果概要(2)

ITER計画のスケジュール

- 真空容器など、いくつかの機器の製造に遅れが出ていることから、理事会は、**ITER機構と国内関係機関がより一層緊密に協力**して、更なるスケジュール遅延を防止すると共に遅延の回復を図るよう、**共同作業体系(ユニークITERチーム)**を組織することを承認。
- ITER理事会の補助機関である運営諮問委員会の臨時会合を開催し、スケジュール回復状況を評価するなど、チェック体制の強化を図ることを合意。

理事会及び補助機関の人事について

- ITER理事会、運営諮問委員会及び科学技術諮問委員会の議長及び副議長が再任された。
- TBM計画委員会の小西議長(京都大学 エネルギー工学研究所 教授)が退任**され、2013年1月1日よりマウリッツ・ガスパロット氏(欧州)が議長として任命されることとなった。



第11回ITER理事会の結果概要(3)

その他

- 2012年6月19日－20日に第12回ITER理事会を日本において開催することを決定。
- 新しいITER機構本部の落成を記念し、ITER計画における密接な協力をアピールするためにエッティンガー欧州委員会委員及びフィオラゾ仏高等教育・研究大臣を招いて来年の1月17日に式典を行うとの説明があった。



＜第11回ITER理事会の様子＞



Credit © ITER Organization, <http://www.iter.org/>

